

# 最新の知見から学ぶ 大雪対策と大雪予測精度向上への チャレンジ

日時: 2018年 **12** 月 **5** 日(水)

**14:00～17:30**(受付 13:45～)

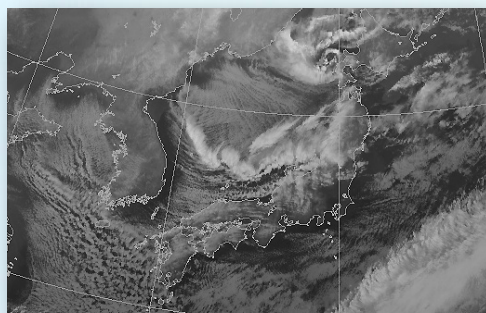
会場: 新潟大学駅南キャンパスときめいと

(新潟市中央区天神1-1 PLAKA1 2階)

**入場無料**

申込不要(98席)

どなたでもご参加いただけます



## 【問い合わせ先】

新潟大学

災害・復興科学研究所事務室(弦巻)

電話: 025-262-7051(代)

E-mail: nhdr\_office@gs.niigata-u.ac.jp

新潟地方気象台(亀井 正久)

電話: 025-281-5872

E-mail: kamei@met.kishou.go.jp

## Program

司会 松元 高峰

(新潟大学災害・復興科学研究所)

開会挨拶・趣旨説明 河島 克久(新潟大学災害・復興科学研究所 所長)

2018年2月の福井の大雪と気象台の防災対応

儀部 英彦(福井地方気象台 台長)

2018年1月の新潟の大雪の概要と平地の大雪の予測(高精度化)

鳥山 泰宏(新潟地方気象台 予報官)

日本海側各地に大雪をもたらす近年の大気循環場の特徴

本田 明治(新潟大学理学部/災害・復興科学研究所 教授)

昨冬の大雪を踏まえた道路管理について

木村 祐二(国土交通省北陸地方整備局道路部道路管理課 課長)

「雪おろシグナル」の開発と運用

平島 寛行(防災科学技術研究所雪氷防災研究センター 主任研究員)

総合討論

閉会挨拶 舟崎 淳(新潟地方気象台 台長)



主催: 新潟大学災害・復興科学研究所  
新潟地方気象台

後援: 国立研究開発法人防災科学技術研究所  
雪氷防災研究センター